

スポーツデータ活用セミナー・体験会開催報告

GPS受信機やドローンによって収集したスポーツデータの利活用について、専門家や企業の方から、最先端の事例を提供していただきました。また、スポーツデータを誰もが活用できる未来について、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科が得意とするデザイン思考を用い、参加者全員で考えました。

さらに、希望者には慶應義塾大学蹴球部のサポートにより、実際にスポーツデータを取得する体験会を実施しました。

日時：平成29年11月17日(金) 18時30分～20時30分（体験会は15時～）

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館（体験会は下田ラグビー場）

対象：高校生以上

【当日の様子】

スポーツデータ活用セミナー 18:30～20:30 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

1. プロスポーツファンに向けた活用最新事例

データスタジアム株式会社アナリスト金沢慧さんからスポーツデータを用いてスポーツを楽しく観戦する、「見る」視点でご講演いただきました。

2. ラグビーデータの活用事例

慶應義塾大学体育会蹴球部 S&Cディレクター太田千尋さんからスポーツデータで選手の怪我予防やチーム力向上など、「する」視点でご講演いただきました。



3. 収集したスポーツデータの分析・可視化手法の解説

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任准教授中島円先生からスポーツデータをどのように分析するのか、どのように問題を可視化するのかなど、「支える」視点でご講演をいただきました。

4. スポーツデータ活用ワークショップ

三人の講演を受け、スポーツデータ活用の可能性と課題について、「する」「みる」「支える」の視点でグループに分かれディスカッションしました。



<チームのテーマ >

「見る」=観戦魅力向上

「する」=チーム力向上

「支える」=コミュニティ作り

最後は各グループ発表をし、全体で情報を共有しました。

職種も年齢も様々な方にご参加いただきましたが、興味のあるスポーツデータという分野を通して、ディスカッションしたため、大変盛り上がりました。

体験会（希望者のみ）15：00～18：00 慶應 下田グラウンド

・GPS、ドローン、光電管、心拍数などを収集

希望者のみ、GPS受信機やドローンによる撮影を行いながらタッチラグビーの試合を行いました。



実際に収集した自分たちのデータを可視化する流れについても教えていただきました。

